

# 13

## 除湿剤から液が漏れた！

昔の住宅に比べ気密性の高い現代の住宅は湿気がこもりやすくなっていますが、室内の湿度が高すぎると、アレルギー性疾患や感染症の原因となるカビやダニも発生しやすくなります。湿気を防ぐ手段のひとつに除湿剤がありますが、この除湿剤の容器にたまった液が漏れて、革のコートが縮んでしまったり、押入れが水浸しになってしまったりしたという相談が当センターに寄せられました。

除湿剤は、塩化カルシウムという薬剤に、製品によっては消臭剤や防カビ剤等を配合したものです。塩化カルシウムは海水中にもわずかに含まれている成分で、豆腐の凝固剤や道路の凍結防止剤としても使用されているものですが、水分を吸収すると液体になる性質（潮解性）があるため、除湿剤として応用されています。今回液漏れしたのは、薬剤がプラスチック容器に入ったタンクタイプのもので、容器の開口部は紙製のシートで覆われ、さらにその上から保護用のフタがかぶせられています。プラスチック容器の内部は上段と下段に仕切られていて、上段に入っている粒状の塩化カルシウムが湿気を吸収すると、下段にその水溶液がたまるという仕組みです。

この水溶液は一見ただの水のように見えますが、こぼれるなどして周囲のものに付着したまま放置するとシミになることがあり、特に床や棚などの木製品に染み込んでしまうと、塩化カルシウムが湿気を吸い続け、表面を拭いてもなかなか乾きません。

万一、液がこぼれてしまった場合、水で洗える衣類等であればすぐに洗濯してください。布団は水洗いのクリーニングに出すとよいでしょう。皮革製品や絹製品は、すぐに液を拭き取って水洗いしないと縮んだり硬くなったりして元に戻らなくなりますが、水をかけられないような高級製品等については専門家に相談した方がよいでしょう。床や壁など直接洗えないものは、濡らした布で水を浸すようにして染み込んだ塩化カルシウムの液を溶かし、次に乾いた布でその水気をよく拭き取ります。こ

の水拭きとから拭きを根気よく繰り返し、染み込んだ塩化カルシウムを吸い出す方法が最も効果的です。ドライヤーや扇風機で乾かしても一時的に水分がなくなるだけで、塩化カルシウムが残っている限り再び湿気を吸ってしまいます。

なお、塩化カルシウム水溶液は弱アルカリ性で、人によっては手荒れ等の原因となるほか、皮膚に接触したまま長時間放置すると、皮膚の中のタンパク質を<sup>わか</sup>侵し、<sup>しんとう</sup>浸透しながら徐々に深部組織まで達して、やけどのような炎症を引き起こす恐れもありますので、これらの処置を行う際には<sup>すいじ</sup>炊事用手袋等のご使用をお勧めします。

このようなことにならないためには、除湿剤は必ず安定した平らなところに設置しましょう。容器の上に物を置いていると、容器上部の紙シートが破れ、倒れたときに液がこぼれやすくなってしまいます。また強い衝撃によって容器に傷がつくと、穴が開いて液漏れする可能性もありますので、落としたりぶつけたりしないよう注意しましょう。そして液がたまって交換時期が来たら早めに取り替えるようにしてください。使用後の除湿剤を廃棄する際は、上部の紙シートを切りはがし、たまった塩化カルシウム水溶液を下水に流して、容器は自治体の分別方法に従って廃棄してください。塩化カルシウムは塩化ナトリウム(食塩)とよく似た性質を持つ物質ですので下水に流せますが、配管等の金属部分に液が付着したままにしておくと<sup>ふしょく</sup>サビや腐食の原因となりますので、多量の水と一緒に流すようにしてください。

押入れや下駄箱に除湿剤を入れたまま忘れてしまっ  
ていませんか？ うっかり倒してしまわないうちに、  
交換時期が過ぎていないか確認してみ  
てはいかがでしょうか。(平成13年10月)

